

Annual Report 2018



特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会
2018 年度年次報告書

Index

代表挨拶	3
特集 2018年度の災害救援活動	4
活動地一覧	8
国際協力	10
環境保護	11
地域活性化	12
災害救援	14
子どもの教育支援	15
その他の事業	15
研修	17
今後の重点事業	18
協賛一覧	20
メディア掲載	21
収支報告	22
団体概要	23

代表理事挨拶

本協会は1993年の発足以来27年目を迎え、当初は年間2～3事業を行うのがやっとのことでしたが、気付いてみるとこれまで延べ4,449事業に121,635人が参加しました。

昨年度だけを見ると、90大学の学生4,000名が全国32のクラブに所属し、本部が主催した127事業に5,811人が参加し、また、それぞれのクラブが主体となって行った事業が729事業となり、6,098人が参加。この一年間だけで、856事業11,909人が、何らかの形で社会に貢献しています。

そもそも、本協会は国際協力・環境保護・地域活性化・災害救援を中心に事業を行ってきましたが、近年、ニーズが高まっている子どもの教育支援を新たに加え、5つの事業を柱に活動を行っています。

昨年度の国際協力事業では、カンボジア・ネパール・インド・フィリピン・中国など、本部主催事業を9事業開催し266人が現地に赴き支援活動を行いました。また、クラブ主催事業では日本国内での活動を中心に13事業422人が参加。

環境保護事業では、琵琶湖の外来種であるオオバナミズキンバエの除去や千葉県印旛沼での外来種ナガエツルノゲイトウ除去活動、九十九里浜全域清掃、京都阿蘇海の牡蠣殻の除去、山形県飛鳥や沿岸の海洋ごみの清掃等、大規模な清掃活動を含め、本部主催事業36事業2,003人、クラブ主催事業125本1,464人が参加。

地域活性化では、本協会と協力協定を結んでいる、新潟県関川村、静岡県西伊豆町、三重県熊野市、岡山県備前市、さらに新潟県長岡市や十日町市、東京都利島村などで、地域の事業に対する支援や、学生目線からの活性化の方策などを提案しています。この本部事業は31事業1,850人、クラブ主催事業84事業1,835人が参加。

災害救援事業では、昨年6月18日に発災した「大阪府北部地震」に対して、6月20日から7月15日まで、地元の学生を中心に救援活動を行いました。

さらに6月28日から台風や梅雨前線などの影響で、西日本を中心に記録的な大雨をもたらした「平成30年7月豪雨災害」に対し、大阪府北部地震と同時進行で救援活動を実施しました。豪雨災害に対しては、7月12日岐阜県関市に先遣隊を派遣し、本隊として関東・関西から13日夜に170名が活動を行いました。また、愛媛県宇和島にいる卒業生から、ポリタンク、簡易トイレ等が不足しているとの緊急連絡(SOS)が入り、13日に現地に搬送を兼ねて小隊を派遣しました。

その後、岡山県倉敷市真備町、広島県安芸郡坂町で復旧活動を行い、夏休みに予定していた通常の事業を一部中止しました。また、発災後8か月後となる本年3月末、復興が進んでいない宇和島に、47名が現地に赴き活動しました。

本年の災害救援事業は、大阪府北部地震に26日間747名。そして平成30年7月豪雨災害で愛媛、広島、岡山、岐阜に9回555人、大阪府茨木市内に8回38人が活動を行い、延べ43回1,340人が参加しました。

子どもの教育支援事業は、生活困窮家庭の子供に対する教育支援など、本部主催で6事業192人、クラブ主催事業で425事業1,706人が活動しました。

これらの活動は、何とんでも学生たちの熱い思いがあればこそですが、普段から応援頂いております、卒業生を含む皆様のご支援・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

ある意味で残念なことではありますが、上記の通り、学生ボランティアの社会的ニーズは年々高まっています。

皆様には、本協会の活動にご理解をいただき、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会

代表理事 下村 誠



～特集～

2018年度の災害救援活動



IVUSAは1993年の北海道南西沖地震による奥尻島津波災害救援活動以降、国内外の自然災害現場にて支援活動を行ってきました。2018年も全国で大きな自然災害が発生し、「大阪府北部地震」「平成30年7月豪雨」に対して、延べ1,391人での支援活動を行いました。

尚、この事業は公益財団法人車両競技公益資金記念財団から助成を受けて実施しました。

1. 活動の概要

■大阪府北部地震

IVUSA 関西事務所のある大阪府高槻市を震源とするM6.1、最大震度6弱の逆断層型の地震で、月曜日の朝7時58分ごろという通勤、通学時を襲った地震災害でした。高槻市で登校途中の小学生がブロック塀の下敷きになり死亡するという事故も起き、全国の小中学校設置者に対して、敷地内のブロック塀の緊急点検を行う通知が出されました。また、各自治体が耐震性に問題のあるブロック塀の改修工事の補助制度を作るなど、犠牲者が出てようやく防災対策に予算と注意が向けられるという皮肉な結果を生みました。

ベッタウンでの直下型地震としては、全壊や全倒といった建物被害が少なかったのが特徴で、これは地震の加速度などにより変化する地震動の周期によるものとみられ、防災科学技術研究所が公開したデータによると0.5秒以下の極短周期地

震動が中心で、木造建築物に

ダメージを与えやすいキラーパルスと呼ばれる1秒～2秒のやや短周期地震動に比べ、揺れの周期が短かったためと専門家の間では言われています。

この、外観による家屋被害が少なかったことが、室内の被害、そして屋根瓦被害を中心とした5万棟を超える一部損壊被害世帯といった、見えない・見えにくい被害による新しい都市型災害の問題が顕在化することとなりました。

IVUSAでは、地震発生後すぐに安否確認・情報収集体制に移行し、職員・大阪圏の学生の無事を確認。事務所近くの職員を中心に周辺の状態の確認や、事務所の片づけなどを行いました。茨木クラブのクラブマネージャーを中心に、断水地区の学生をライフラインが復旧した学生宅で入浴させるなど、支援する一方、日ごろ地域活動で協力関係のあった茨木市社会福祉協議会に向かい、災害ボランティアセンターの立ち上げや外部支援者の受け入れ体制づくりに協力。地震発生翌日の19日から支援活動を行いました。

室内の片づけやがれきの撤去などの活動とともに、前述のとおり被害が見えにくい災害であったため、声を上げにくい被災者や、そもそもボランティアセンターの存在を知らない市民のために、ポスティングや戸別訪問を中心としたローラー作戦を展開し、支援の抜け・漏れ・見落としのないよう取り組みました。

さらに、屋根瓦被害に対応するべく、

プロボノや技術支援系のボランティアの方々と、被災ニーズをマッチングするサテライトマッチングベースの運営を行うなど、中期的な支援活動となりました。現在も、ブルーシートの張替えニーズなど復旧が遅れている地域を支援する「茨木ベース」での活動に、週末お手伝いに行くなど地域クラブ単位での支援が続いています。

■平成30年7月豪雨（西日本豪雨災害）

6月28日以降、北日本に停滞していた前線が7月4日に向け北海道付近に北上、7月5日に今度は西日本まで南下し停滞しました。また、6月29日に日本の南で発生した台風7号は前線を刺激しながら東シナ海を北上し、対馬海峡付近で進路を北東に変えた後、7月4日15時に温帯低気圧に変わりました。

この間6月28日から7月8日まで11日間にわたり全国で大雨を降らせ続け、総降水量が四国地方で1,800ミリ、東海地方で1,200ミリを超え、7月の月降水量平年値の2～4倍となるところがありました。降った雨の合計は気象庁のデータがある37年間で最大。約824億トンという、琵琶湖3杯分の雨がふり、各地で浸水、河川の越水・決壊、土砂崩れといった広域大水害を引き起こしました。

IVUSAでは、大阪府北部地震支援活動を継続しており、第1種警戒態勢中であったため、すぐに災害対策本部を招集、全国の関係者、卒業生、学生の実家など、

各地の情報を集めつつ派遣準備を開始しました。集まった情報を精査し、マスコミ報道が集中する岡山、広島とくらべ注目されていないが、家屋浸水被害が多数発生している岐阜県関市、卒業生からの支援依頼のあった愛媛県宇和島市に1次隊を同時派遣。その後増援や岡山県真備町、広島県坂町と転戦しました。

今回の水害は、越水や決壊による家屋の浸水被害だけでなく、土石流や土砂崩れによる被害も混在し、マンパワーによる人海戦術、丁寧な家屋復旧作業だけでなく、重機を使用した技術支援系ボランティアと協働しての道路啓かい、がれき・土砂の撤去など複合的な復旧作業に当たりました。現在も卒業生からの救援依頼のあった愛媛県宇和島市でのミカン畑の復旧などの農業ボランティアとして、復旧・復興に向けて支援を継続しています。

2. 大阪北部地震に対する活動

■活動期間

平成30年6月19日(火)～7月15日(月)

※6月18日は、会員の安否確認・情報収集・高槻事務所周辺の被害状況の調査を実施

■活動場所

大阪府茨木市、高槻市

■参加者数

33大学、延818名

■活動内容

全壊や倒壊のような大きな被害は比較

的少なかつたものの、屋根瓦がずれる等の屋根の被害や家具の転倒、食器等が散乱する等の被害が多くありました。また、ベッドタウンという土地柄、コミュニティが弱く、各種支援情報が行き届いていませんでした。そのため、各災害ボランティアセンターと連携し、①支援情報の周知、②ニーズの有無の確認のため、被害が大きい地域1軒ずつ訪問するローラー作戦を主軸にし、活動を行いました。

- ・避難所でのボランティアセンター等の支援情報のチラシの配布
- ・被災地域での支援情報のチラシのポスティング
- ・被害が多い地域でのボランティアニーズのヒアリング調査(ローラー作戦)
- ・家財の移動や整理整頓
- ・瓦礫の撤去や処分場への運搬
- ・屋根に張るブルーシートの重し用の土嚢作り
- ・高槻市災害ボランティアセンターのブルーシートニーズ専門のサテライト(通称:古曽部ベース)の運営

【活動の成果】

- 茨木市
避難所でのチラシの配布 542枚
ローラー作戦(戸別訪問、ポスティング、ヒアリング) 30地区 14,867軒
- 高槻市
土嚢の作成 1,200個
ローラー作戦(戸別訪問、ポスティング、ヒアリング) 7地区 6,061軒

※高槻市では「負けてたまるか大作戦 in 高槻」と題してローラー作戦を実施。会員以外のボランティアも募集したローラー作戦の企画・運営を行い、その後高槻社協に引き継がれました。

古曽部ベースの運営により、技術系ボランティアとブルーシート張りのニーズのマッチング約200軒

【表彰】

平成30年10月11日に高槻市より感謝状を授与

令和元年6月18日に茨木市より感謝状を授与

令和元年6月18日に茨木市社会福祉協議会より感謝状を授与

【活動協力】※順不同、敬称略

■助成

公益財団法人 車両競技公益資金記念財団

■協賛

株式会社 オンザウェイ

■物品提供

鮫島 淑子、野村 雄一郎、松田 絢子、森谷 杏奈、久野 未稀、守護山玉蔵院、神奈川 青年教師会

■寄付

青谷 静華、カリール・友香里、水口 裕喜、西崎 敦巳、牧 香里、山本 朗子、野地 久美子、堀 未来、中山 夏実、泉 勇作、坂本 舞子、土井 宏、土井 ちひろ、江角 隆宏、五十嵐 友理、北村 基、今井 槇子、佐藤 紘子、池田 勝一、中川 絵里、吉田 達哉



Point 災害のデータ

《大阪府北部地震データ》

災害救助法の適用：大阪市や高槻市、茨木市など13市町村

人的被害：死者6名、重軽傷者462名

住家被害：全壊21棟、半壊454棟、一部損壊56,873棟。しかし、地震保険の受付件数が13万件以上、支払件数が9万件以上あり、実際にはさらに多くの被害があったと予測される。

ライフライン：大阪府内約17万戸、兵

庫県内約690戸が停電約2時間。

高槻市・茨木市・枚方市・箕面市では断水や水の混濁が発生、高槻市・大東市で水道管破裂。

高槻市・茨木市を中心に約11万戸で都市ガスの供給停止。

全域が復旧したのは地震発生から6日後。

《平成30年7月豪雨データ》

大雨特別警報発令：7/6 福岡県、佐賀県、

長崎県、岡山県、広島県、鳥取県、兵庫県、京都府、7/7 岐阜県、7/8 高知県、愛媛県
災害救助法の適用：11府県の107市町村
人的被害：1府13県で死者237名、行方不明者8名

住家被害：1道2府29県で全壊6,767棟、半壊11,243棟、一部損壊3,991棟、床上浸水7,173棟、床下浸水21,296棟

3. 平成30年7月豪雨（西日本豪雨災害）に対する活動

■活動期間

7月12日～15日、7月13～16日、7月19～22日、7月20日～22日、7月27、28日、8月3日～5日、8月7日～12日、8月19日～28日

■活動場所

岐阜県関市、下呂市、愛媛県宇和島市、岡山県倉敷市、広島県坂町

■参加者数

31 大学1 高校、延 573 名

■活動内容

一つの地区を担当させていただいた際には、支援の抜け・落ち・漏れ・偏りが出ないように、地区内の全戸に対してニーズ調査を行いました。また、OG から救援依頼があった愛媛県宇和島市へは簡易トイレや折り畳み式ポリタンクなどの救援物資を届けさせていただきました。また、多くの地域では使えなくなってしまった家財や畳などの運び出し、浸水やカビが繁殖してしまった壁の除去、床板剥がし、床下やお庭の泥・土砂の撤去、家屋の洗浄や消毒作業等の活動を行いました。

・岐阜県関市上之保鳥屋市地区・明ヶ島地区

家財・災害ゴミの運び出し、床板はがし、床下の土砂だし、家屋の床の基礎部分の洗浄・消毒、全世帯（69 世帯）へのニーズヒアリング、側溝整備

・愛媛県宇和島市吉田町と村井地区

救援物資の輸送、道の啓開、家屋内と道路の土砂や泥のかき出し

・岡山県倉敷市真備町

家屋内にある家財の運び出し、家屋前の路地に搬出された家財の運搬、家屋内の土砂のかき出し、災害ゴミや土嚢の運搬

・広島県安芸郡坂町中村地区・小屋浦地区

家財の運び出し、土嚢づくりと運搬、側溝や床下に溜まった土砂やヘドロのかき出し、壁板剥がし、床下や外壁の洗浄・消毒

【活動の成果】

・岐阜県関市上之保鳥屋市地区・明ヶ島地区

21 件のニーズに対し、すべて作業完了

・愛媛県宇和島市吉田町と村井地区

バン1 台分の物資輸送、約 10m の道路の啓開、住宅の庭や倉庫 3 軒の土砂出し

・岡山県倉敷市真備町

8 件のニーズに対し、6 件完了

・広島県安芸郡坂町中村地区・小屋浦地区

79 件のニーズに対し、69 件完了

【活動協力】※順不同、敬称略

■助成

公益財団法人 車両競技公益資金記念財団

■協賛

株式会社 オンザウェイ

■寄付

キーン・ジャパン合同会社

4. 参加した学生の声

■林 幹太（東京市ヶ谷クラブ日本大学4年）



私は大阪府北部地震災害救援活動から豪雨災害も含め、昨年5度の災害救援活動に参加しました。

なぜ、私が何度も災害救援活動に参加したのか。それは、現地在一人で多くの力を必要としていたからです。家財の運び出し、ヘドロのかき出し作業、困っているお宅のニーズ調査などを行っていく中で、「あと一人いれば」「あと一分時間があれば」と思うことが多々ありました。

一人でも多くいれば、できる作業が増え、より多くの元気を置いてくることができます。IVUSA の災害救援活動では、「現地に元気を置いてくる」ことをモットーに活動を行っています。一軒一軒お宅の方とコミュニケーションをとり、学生が持つマンパワーを活かして災害と向き合います。一度や二度の活動ですべてのニーズを完遂することはできませんが、現地の方に明日を生きる活力を肌で感じてもらうことができます。

またいつどこで災害は起こるか分かりませんが、私はこれからも災害と向き合い続けたいと思います。

■小田川 茜（東京板橋クラブ東京家政大学4年）

「世界で一つしかないものなんだ」



作業させていただいたあるお宅で、口数が少なかったお父さんが涙ぐみながら言った言葉です。私はその場面を思い出すと、胸が熱くなります。

床の下で作業していた時のことです。瓦礫かと思って除けていたものは、どうやら意図した形をしているようで、泥を落としてみるとそれは綺麗な青色をした湯のみでした。

話によると、お母さんが趣味でやっていた陶芸の食器だったのです。

驚きました。どうしてこんなところに食器が？って。そこで改めて水害の怖さを想像して身震いました。

私たちはお父さんお母さん以上に喜んでいて、その瞬間から心を開いてくれたようでした。たくさんお話しして、前よりも一緒に作業するようになりました。

「学生は微力だけど無力じゃない」

災害救援に行くと、いつもこの言葉を思い出します。被害の大きさに圧倒されるけれど、それでも学生にしか出来ない災害救援の形があると信じているし、これからも被災地に行き続けたいです。

■高津 有紀（大阪高槻クラブ関西大学4年）



揺れを感じた時、まさか高槻が震源とは思いませんでした。不安な気持ちを抱えながらも、「高槻に住んでいる私だからこそ力になれることがある」と思い、約1か月半の間、災害救援活動に取り組みました。

中規模な災害であったため、外観からは分からない被害や地域の人が抱えている大きな不安があることに気がきました。また、力になりたいと思う一方、一人ひとり被災状況が違う中でボランティアと

しての支援の難しさも感じました。

しかし、週末には全国から会員が集まり、他団体と連携することで少しずつ復旧が進んでいきました。また、被災された方とお話する時には「少しでも元気になってもらいたい」と思い活動していましたが、反対に自分自身が元気をもらっていることにも気がきました。

一年以上が経過した今でも被災当時のままの場所もあります。これからももっと地域と連携し防災に取り組んでいきたいと思います。

■赤松 渉太 (大阪茨木クラブ立命館大学3年)



がんでいたりなど、目に見えるような被害もあったのですが、なにより地域住民の方から救援の依頼が多く寄せられており、地震の発生によって困っている方が多くいることを実感しました。

困っている方々のために住宅街を歩き回って救援依頼がないかの調査を行ったり、救援の依頼のあったお宅を訪問して家具の整理をお手伝いさせて頂いたりする中で、ただ作業に従事するだけでなく、地域住民の方とのコミュニケーションを大切にすることで、被災された方々の気持ちに寄り添うことが大切だということを改めて学ばせていただきました。



地震発生地は普段から通学している僕にとって身近な地域であったのと、僕自身大学1年生の時から災害救援活動に携わってきたこともあって、経験を活かしつつ地域の復旧のために「自分出来ることを全力で取り組もう」と大阪府北部地震の救援活動に参加させて頂きました。

当時の街の状況として、住宅街の所々で屋根瓦が落ちていたり、歩道が一部ゆ



活動

IVUSAでは、「国際協力」「環境保護」「地域活性化」「災害救援」「子どもの教育支援」の5つの活動分野を軸に活動しています



海外編

春と夏の長期休暇を利用し、国内だけでなく、国外でも活動しています

紹介

- 環境保護
- 地域活性化
- 国際協力
- 災害救援
- 子どもの教育支援
- その他



国内編

2018 年度の活動場所は、国内だけで 24 カ所に及びました
 この他にも各クラブが地域のニーズに合わせたボランティア活動を行っています

事業一覧

国際協力

■第14次中国緑化活動



日時:9月2日～11日

場所:中華人民共和国北京市、内モンゴル自治区ダラト旗

参加人数:34名

活動内容:ポプラ植林、作業道整備、砂漠博物館等見学、ダラト旗第七中学・北京語言大学日本語科学生との交流会

カウンターパート:日中緑化交流基金、中国国際青年人材交流中心、ダラト旗共産主義青年団

■インド生活支援活動



日時:2月13日～27日

場所:インド共和国ニューデリー、ケララ州パンドラム・アムリタプリー・コーチン

参加人数:32人

活動内容:飲料水用ろ過装置設置、現地住民への衛生教育、交流会

カウンターパート:MA.Math、アムリタ大学

■カンボジア子ども教育支援活動



日時:2月28日～3月10日

場所:カンボジア王国コンボンチャム州

活動内容:過去建設地・建設予定地訪問、教育企画実施

参加人数:54名

カウンターパート:KHJ Construction Co.ltd

■フィリピン減災・環境保全活動



日時:8月29日～9月7日、2月28日～3月9日

場所:マニラ、ヌエバエシハ州ラオー市

参加人数:延べ49人

活動内容:高校・小学校での減災学習、清掃活動道路建設、用水路の整備、高校との協働でエコブリックス(ペットボトルにプラスチックごみを入れて再利用する)、ペンキ塗り、パヤタス(スモキーマウンテン)訪問、ACCORD(Assistance and Cooperation for Resilience and Development Inc.)やPETA(Philippine Educational Theater Association)とのワークショップ

カウンターパート:ラオー市バランガイ・ピナグバヤナンの協同組合KADRE、Bridges of Inter-cultural Harmony Inc.

■ネパール山村支援活動2019



日時:3月2日～3月17日

場所:ネパール連邦民主共和国ルンビニ県パルバ郡ミッテルVDCヒルパニ村

参加人数:29人

活動内容:バイオガス施設の建設工事

カウンターパート:垣見一雅氏

環境保護

■琵琶湖外来水生植物除去大作戦 2018



日時:9月7日～9日

場所:滋賀県大津市、草津市、守山市

参加人数:IVUSA 学生 318 名、一般参加者 142 名、事務局 9 名、卒業生 15 名

活動内容:琵琶湖に繁殖する環境省から指定されている特定外来生物のオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの除去活動

カウンターパート:滋賀県、琵琶湖外来水生植物対策協議会

■オオバナミズキンバイ除去活動

日時:7月1日、8月5日、8月8日、8月19日、8月22日、8月29日、12月2日、3月2日、3月10日

場所:滋賀県大津市、草津市、守山市、高島市

参加人数:延べ 197 人

活動内容:琵琶湖に繁殖する環境省から指定されている特定外来生物のオオバナミズキンバイ、ナガエツルノゲイトウの除去活動

カウンターパート:滋賀県、琵琶湖外来水生植物対策協議会、琵琶湖博物館環境学習センター、国土交通省琵琶湖河川事務所、玉津・小津漁業協同組合、認定 NPO 法人びわこ豊穡の郷

■京都府阿蘇海環境づくり活動



日時:4月28日～29日、6月16～17日、8月26日～29日、10月20日～21日、2月28日～3月3日

場所:京都府京丹後市、宮津市、与謝野町

参加人数:延べ 202 人

活動内容:カキ殻回収、カキ殻資源利用促進、河川清掃、地域行事のお手伝い、子ども向け環境学習会の企画運営、カキ殻を利用した商品の展示会の企画運営、各種イベントでの展示等啓発活動、交流会

カウンターパート:京都府丹後広域振興局、吉野茶屋

■長野県北信地域森林整備活動



日時:8月4日～7日

場所:長野県中野市・信濃町

活動内容:県有林の整備、利活用の子供向けイベントの実施、治山整備、

参加人数:77名

カウンターパート:長野県

■第17回千葉県九十九里浜全域清掃大作戦



日時:8月19日(日)～23日(木)

場所:千葉県九十九里浜全域

参加人数:484人

活動内容:九十九里浜全域での海岸清掃活動、会員向け現場作業研修

カウンターパート:千葉県旭市、いすみ市、一宮町、大網白里市、九十九里町、山武市、白子町、匝瑳市、長生村、横芝光町

■竹林整備活動



日時:5月20日、6月17日、8月26日、9月15日～16日、10月21日、11月18日、12月16日、2月3日、2月17日、3月16日～17日、3月24日

場所:神奈川県横浜市青葉区こどもの国

参加人数:延べ 272 人

活動内容:園内竹林の整備活動

カウンターパート:社会福祉法人こどもの国協会

■千葉県印旛沼クリーン大作戦



日時:5月13日、8月3日、8月9日～11日、9月6日
 場所:千葉県八千代市・印西市 神崎川
 活動内容:外来水生植物の駆除
 参加人数:延べ165名
 カウンターパート:千葉県

■第3回山形県日本海沿岸清掃活動



日時:8月30日～9月3日
 場所:山形県酒田市、遊佐町
 参加人数:132名
 活動内容:海洋漂着ゴミの回収撤去
 カウンターパート:特定非営利活動法人パートナーシップオフィス

■新潟県佐渡市日本海沿岸清掃活動



日時:9月11日～14日
 場所:新潟県佐渡市
 活動内容:大野亀海岸清掃、意見交換会の実施
 参加人数:82名
 カウンターパート:佐渡市

。。。地域活性化。。。

■すみだストリートジャズフェスティバル



日時:8月18日・19日
 場所:東京都墨田区
 活動内容:ジャズフェスティバルの運営ボランティア、ブース出展
 参加人数:71名
 カウンターパート:すみだストリートジャズフェスティバル実行委員会

■三重県熊野市活性化活動



日時:8月4日～6日、8月8日～10日、8月14日～19日、11月24日～25日、2月21日～24日
 場所:三重県熊野市
 参加人数:延べ296人
 活動内容:響鼓 in 熊野運営補助、熊野大花火大会運営補助及び各種提案事業の企画実施、熊野サミットへの参画・参加、各地区・団体との協働事業
 カウンターパート:熊野市、熊野市観光協会、熊野商工会議所、響鼓 in 熊野実行委員会、記念通り商店街、熊野市須野町、神川地区まちづくり協議会、糸川屋製菓株式会社、熊野サミット実行委員会

■新潟県関川村活性化活動



日時:8月24日～26日、2月2日～4日、2月8日～10日
 場所:新潟県岩船郡関川村
 参加人数:延べ238人
 活動内容:大したもん蛇祭り・セヶ谷雪ほたる祭り・大石だもんご祭りの運営補助、村民との交流、村内ボランティアの実施
 カウンターパート:関川村、たらんベクラブ、大石・山と川に親しむ会

■東京都利島活性化活動



日時:8月2日～6日
場所:東京都利島村
参加人数:44人
活動内容:椿農家の農作業支援
カウンターパート:株式会社利島

■岡山県備前市日生諸島活性化活動(8次隊・9次隊)



日時:9月15日～18日、3月1日～4日
場所:岡山県備前市日生町頭島
参加人数:206名
活動内容:オリーブ植林、海岸清掃活動、1day里海のテーマパーク(イベント)、包括連携協定締結式、活動報告会
カウンターパート:備前市、備前市観光協会

■静岡県西伊豆町活性化活動



日時:4月28日～29日、6月2日～3日、7月13日～16日、8月14日～17日、10月13日～14日、11月2日～4日、2月21日～25日
場所:静岡県賀茂郡西伊豆町
活動内容:耕作放棄地の再生、ヤーコンの栽培、各地区祭りの運営補助
参加人数:延べ259名
カウンターパート:西伊豆町

■長野県飯山市活性化活動



日時:8月8日～11日、2月7日～11日、3月7日～11日
場所:長野県飯山市
参加人数:延べ250名
活動内容:「大川地区での古道整備活動」「いいやま雪まつり」と「信濃平かまくら祭り」の運営補助、「戸狩光の祭典」の企画立案実施
カウンターパート:飯山みゆき野有志の会、大川有志の会、いいやま雪まつり実行委員会、かまくら祭り実行委員会、戸狩温泉スキー場株式会社、戸狩観光協会

■新潟県十日町市活性化活動



日時:2月15日～18日、3月7日～10日
場所:新潟県十日町市
参加人数:延べ165人
活動内容:「十日町雪まつり」の運営補助、「雪原カーニバルなかさと」の運営補助、雪像作成、地元中学校の課外授業の企画運営、露店出店
カウンターパート:公益社団法人十日町青年会議所、十日町市役所中里支所

■新潟県長岡市活性化活動



日時:8月1日～4日、8月24日～27日、11月2日～4日、2月8日～10日、3月9日～11日
場所:新潟県長岡市
参加人数:延べ300人
活動内容:長岡まつり、栃尾祭り、裸押し合い祭り、ほだれ祭り運営補助
カウンターパート:特定非営利活動法人ネットワーク・フェニックス、長岡青年会議所、長岡社会福祉協議会、栃尾祭り実行委員会、裸押し合い祭り実行委員会、ほだれ祭り実行委員会、とちお同住会

災害救援 ◆ 防災 ◆

■大阪府北部地震救援活動



日時:6月19日～7月15日
 場所:大阪府高槻市、茨木市
 参加人数:延べ818人
 活動内容:ニーズヒアリング(ローラー作戦)、ポスティング、災害ボランティアセンターのサテライト運営、家財や瓦礫の片づけ
 カウンターパート:高槻市災害ボランティアセンター(社会福祉法人高槻市社会福祉協議会)、茨木市災害ボランティアセンター(社会福祉法人茨木市社会福祉協議会)

■平成30年7月豪雨災害救援活動



日時:7月12日～15日、7月13日～16日、7月19日～22日、7月20日～22日、7月27日、28日、8月3日～5日、8月7日～12日、8月19日～28日
 場所:岐阜県関市、下呂市、愛媛県宇和島市、岡山県倉敷市、広島県坂町
 参加人数:延べ573人
 活動内容:壁や床板の除去、家財等の運搬・分別、土砂の除去、洗浄、消毒
 カウンターパート:関市災害ボランティアセンター(社会福祉法人関市社会福祉協議会)、下呂市災害ボランティアセンター(社会福祉法人下呂市社会福祉協議会)、宮本佳織(IVUSA19期OG)、倉敷市災害ボランティアセンター(社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会)、坂町災害ボランティアセンター(社会福祉法人坂町社会福祉協議会)

■平成30年台風21号災害救援活動



日時:9月19日～21日、9月25日、10月13日
 場所:大阪府茨木市
 参加人数:延べ24人
 活動内容:ニーズがあるお宅の現地調査
 カウンターパート:茨木市災害ボランティアセンター(社会福祉法人茨木市災害ボランティアセンター)

■東日本大震災復興支援活動



日時:8月23日～27日
 場所:宮城県亘理郡山元町
 参加人数:延べ187人
 活動内容:夏まつり運営補助、慰霊祭・式典補助、松林整備、側溝整備、被災・復興状況フィールドワーク
 カウンターパート:宮城県山元町おてら災害ボランティアセンター、山元町震災復興土曜日の会、普門寺、浄正寺、徳本寺、はじまるしえ運営委員会、みんなの図書館、NPO法人生命と環境保全、やまもと語り部の会、牛橋地区

■第2回東海防災サミット in 美浜

(子どもも大人も楽しく学べる「減災」プログラムの作りかた)



日時:3月23日～25日
 場所:愛知県美浜少年自然の家
 参加人数:69名
 活動内容:講演(小村隆史氏・常葉大学准教授、小倉文佳氏・NPO法人プラス・アーツ東京事務所長、杉浦健氏・共働プラットホーム代表・ボランティアコーディネーター、山本克彦氏・日本福祉大学准教授)、フィールドワーク、事例発表、分科会、炊き出し体験
 助成:独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業「減災学習インストラクター養成事業」
 カウンターパート(共催):愛知県美浜少年自然の家、特定非営利活動法人ボランティア活動推進国際協議会日本(JAVE)

■愛媛県宇和島市復旧支援活動



日時:3月25日～28日
 場所:愛媛県宇和島市
 参加人数:47人
 活動内容:豪雨被害を受けたミカン畑の復旧支援(土砂やがれきなどの撤去等)
 カウンターパート:宇和島市役所、えひめ南農業協同組合

・子どもの教育支援・

■児童養護施設の子どもの交流キャンプ



日時:7月6日～8日、7月20日～22日、11月16日～18日、11月9日～11日
 場所:新潟県長岡市
 参加人数:127人
 活動内容:児童養護施設の子どもの交流キャンプ
 カウンターパート:長岡市立養護施設双葉寮、社会福祉法人 新潟カリタス会 聖母愛児園

■三重県熊野市子ども防災キャンプ



日時:8月8日～10日
 場所:三重県熊野市
 参加人数:26人
 活動内容:小学生向け防災キャンプの企画運営
 カウンターパート:特定非営利活動法人あそぼらいつ

■スタサポ事業 (生活困窮世帯の子ども向け学習支援事業)



日時:年間4箇所ですべて183回実施
 場所:京都府京田辺市、滋賀県大津市(瀬田・浜大津)、京都府京都市醍醐
 参加人数:ボランティア延760人が支援を行い、延1,306人の子どもたちが参加
 活動内容:生活困窮世帯の子ども向けの学習支援の実施
 カウンターパート:京田辺市、大津市、京都市

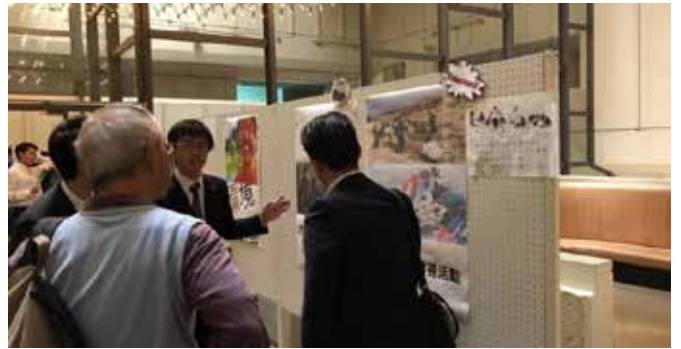
■大学生インストラクターによる子どもたちのボッチャ体験イベント



日時:通年
 場所:東京都世田谷区内
 参加人数:延べ51人
 活動内容:子ども向けのボッチャ体験会の実施
 カウンターパート:世田谷区子ども・若者部 児童課

・その他の事業・

■西日本活動報告会



日時:5月20日
 場所:滋賀県大津市 大津市民会館
 来場者数:787人
 活動内容:2017年度の活動報告、災害シミュレーション劇、展示

■東日本活動報告会



日時:5月27日
 場所:東京都世田谷区 世田谷区民会館ホール
 活動内容:2017年度事業の活動報告
 参加人数:1,005名

■職コン 2018



日時:11月10日、11月17日、12月1日、12月15日

場所:東京都内・京都府内

活動内容:20卒の学生による就職セミナー・マッチングイベントの実施、

参加人数:延べ205名

カウンターパート:なし

■夢まつり 2018



日時:11月17日

場所:東京都内

活動内容:新規事業プレゼン発表・審査

参加人数:88名

カウンターパート:なし

■城下町おだわらツデーマーチライフセービング活動 2018



日時:11月17日～18日

場所:神奈川県小田原市

活動内容:城下町おだわらツデーマーチの救護補助、コースを伴歩し、傷病者の発生対応に備える

参加人数:14名

カウンターパート:城下町小田原ツデーマーチ実行委員会、小田原日本赤十字

■世田谷区市民活動支援コーナー運営



日時:通年

場所:世田谷区キャロットタワー3階

運営スタッフ数:11名

年間利用者数:延べ約23,000人

活動内容:スペースの管理運営、市民活動相談、利用団体PRイベント「パオフェスタ」

開催、利用団体PR展示会「支援コーナーの日々展」開催

カウンターパート(委託元):公益財団法人せたがや文化財団

■沖縄県戦没者遺骨収集活動



日時:2月19日～25日

場所:沖縄県浦添市

参加人数:149名

活動内容:沖縄戦戦没者の遺骨収集と慰霊

カウンターパート:平和祈念財団遺骨収集情報センター、平和祈念資料館友の会、株式会社守礼ホーム

■遺骨収集事業



日時:6月26日～7月11日、7月23日～8月8日、8月27日～9月12日、11月27日～12月12日、1月29日～2月14日

場所:東京都小笠原村硫黄島、ロシア連邦ハバロフスク地方

参加人数:8名

活動内容:第二次世界大戦の戦没者・戦時抑留中死亡者の遺骨遺留品の回収と返還

カウンターパート:一般社団法人日本戦没者遺骨収集推進協会

研修

■初夏トレ・春合宿



日時:6月2日、6月3日、6月9日、6月10日、6月23日、6月24日
場所:滋賀県高島市(白浜荘)、滋賀県蒲生郡(希望が丘文化公園)、大阪府枚方市(枚方市野外活動センター)、東京都内・神奈川県内の大学
参加人数:延べ1,961人

■役員合宿・キックオフ合宿



日時:12月27日～28日、2月12日～13日、2月19日～20日
場所:長野県長野市(長野ロイヤルホテル)、京都府内の大学、東京都内の大学
参加人数:延べ694人

■マネジメント研修 (Management Training)



日時:通年
参加人数:3,531人
活動内容:プロジェクト運営の基礎となるマネジメント能力を身に付ける。

■社会理解講習 (SRT=Society Reflect Training)



日時:通年
参加人数:1,849人
活動内容:様々な社会的課題がなぜ引き起こされるかという社会的背景や構造に対する理解を深める。

■危機対応講習 (CMT=Crisis Management Training)



日時:通年
参加人数:2,879人
活動内容:過去25年以上にわたる災害救援活動の現場で培ったノウハウ・知識・安全管理という考えを元に、誰もが身につけておく必要がある応急措置や身の回りの危機に対処する方法を身に付ける。

今後の事業の 重点分野

IVUSA が現在、力を入れている
事業を 2 つ紹介します。

海ゴミ問題

近年、海洋ゴミ（特にマイクロプラスチック）に対する社会的関心が高まっています。2019年6月に行われた長野県軽井沢町で開かれたG20 エネルギー・環境関係閣僚会合で、海洋プラスチックごみの削減へ各国が協調して取り組む初の国際枠組みの創設が合意されました。

IVUSA ではこれまで千葉県九十九里浜、山形県飛島、京都府北部、新潟県佐渡市などで大規模な清掃活動を大学生を中心に実施してきました。

今後は、大学生だけでなく様々な世代の人たちの活動への巻き込みと、海ゴミ問題の啓発を図っていきます。

そして、地域で海ゴミ対策のプロジェクトを立ち上げることができ
る大学生をはじめとするユースの育成を目指します。

これらの活動を日本財団「海と日本 PROJECT」の助成を受け、「ユースによる海洋ゴミ対策キャンペーン」として展開していきます。コンセプトは「Youth for the Blue」で、「#Y4B」というハッシュタグでSNS等で拡散する予定です。

Youth for the Blue

■海洋ゴミ問題をテーマしたフォーラム「海ゴミ問題に対してユースは何ができるか？」

子ども減災学習

IVUSA では、2017年度子どもゆめ基金の教材助成を受け、『これなら、できる!! できることから始める! ボクたち、ワタシたちの「減災 (げんさい) アクション』』という web 教材を作成しました。

この web 教材は、子ども向けの減災教材であり、発災後の対応だけでなく、私たちの人生や社会の中にある災害リスクをいかに減らしていくかという「減災」(予防防災) という視点を非常に強く打ち出しています。

IVUSA は東日本大震災をはじめ全国各地で、当協会の学生会員やボランティアと一緒に災害救援活動を実施してきました。被災地に共通しているのは、少子高齢化が進み、災害が起きた時に機動的に動ける若い世代の人数が不足しているという現実です。その中でも貴重な若者世代が地元の中学生・高校生であり、災害が起きた時に彼らがボランティアとして積極的に復旧・復興に関わっていくことが求められています。

そのような現状があるにも関わらず、子ども向けかつ「減災」の視点を持つ教材やプログラムがほぼないことから、IVUSA では、次世代を担う子ども向けの減災 web 教材を作成しました。

現在は、web 教材の普及期間となっており、IVUSA 学生が、減災学習普及の担い手となり、更に若い世代である子ども向けにプログラムを展開して行けるよう、準備を進めています。IVUSA 内で災害や減災について学び合い、プログラムの作成・実施を行うための学びの場としての「減災コミュニティ」の形成をはじめとし、様々なゲストを迎えた勉強会の開催や、学生主体での、実際のプログラム普及活動に繋げるための学びの場、「減災ファクトリー」などを行なっております。IVUSA 学生のクラブ事業において、地域防災活動に力を入れているクラブも多く、実際のプログラム普及活動としては、地域防災関連行事における減災プログラムや子ども向けの減災キャンプの実施などが想定されます。



7月21日に海洋ゴミ問題にかかわっているユース（若者）が集まり、問題や対策の現状を学ぶとともに、各自の取り組みや活動する上での工夫をシェアするフォーラムを実施します。

【内容】

・基調講演

金子 博氏（特定非営利活動法人パートナーシップオフィス理事）

・事例発表

古澤 純一郎氏（古沢工業株式会社取締役／海さくら代表・発起人）

今村 和志氏（特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム理事／事務局長）

大藤 涼花氏（特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会東洋大学4年）

江幡 咲希氏（離島交流プロジェクト早稲田大学3年）

斎藤 七菜子氏（三陸つばき早稲田大学3年）

・グループワーク

共催：平山郁夫記念早稲田大学ボランティアセンター（WAVOC）

■海洋ゴミ問題の啓発のためのチラシやウェブサイトを作成

IVUSAの公式ウェブサイトの中に特設ページを開設するとともに、チラシを制作します。

<https://www.ivusa.com/umigomi>



■長崎県対馬市で海岸清掃活動を新設

海流と地形の関係で非常に多くのゴミが漂着・滞留する対馬で、今年度から清掃活動を実施します。

今後は、韓国の学生と一緒に清掃するような形にしていきたいと考えています。

協力：一般社団法人CAPP、NPO法人環境カウンセリング協会長崎

お助けボランティア

お年寄りのお手伝いがしたい、子どもが好き、動物が好き、大工仕事や力仕事得意という学生が、授業の空き時間や登下校前後の隙間の時間で、地域で困っている方たちのお手伝いをする取り組みです。

「庭の雑草を刈ってほしい！」「ゴミ出しをしてほしい！」「買い物に行ってきたほしい！」「犬の散歩やペットの世話をしてほしい！」「タンスなどの大きな荷物を動かしてほしい！」「子どもの送り迎えや遊び相手をしてほしい！」「お出かけする際に付き添いでほしい！」などなど。

介護保険制度や障害者総合支援法など、高齢者、障がい者に対する支援制度。子育て世代・シングル世帯への支援制度。そうした行政、福祉機関を中心とした公的・民営的な支援制度の枠に入らないお困りごとや、ちょっとしたお手伝いで解消する課題を、新しい地域コミュニティ力で解決しよう！という事業です。

ゆくゆくは、学生だけでなく地域内の住民同士が、この活動を通じて支えあっていく、地域コミュニティ力の向上を目指しています。そうした力を、防災・災害に強いまちづくりにも生かしていきます。

すでに本部のある東京都世田谷区でパイロット的に取り組んでいます。今後は地域活性化活動を展開する行政パートナーや卒業生を中心とした地域コミュニティに横展開していくことを目指しています。



協賛一覧

夏プロジェクト

企業名	商品名	使用プロジェクト	原価(円)	個数	合計(円)	価値(円)
瑞産産業株式会社	軍手	平成30年西日本豪雨	200	1000	200,000	200,000
興研株式会社	防護マスク	平成30年西日本豪雨	239	50	11,950	11,950
ジェントス株式会社	ワークラット	平成30年西日本豪雨	7,750	5	38,750	38,750
こだま食品株式会社	うけんび20袋入り	平成30年西日本豪雨	2,556	10	25,560	153,000
	家伝	平成30年西日本豪雨	108	180	19,440	
	紅はるか干し芋	平成30年西日本豪雨	540	100	54,000	
GK株式会社	スマートフォン用モバイルプリンタ	利島活性化活動	17,496	8	139,968	156,168
	専用印刷紙	利島活性化活動	1,620	10	16,200	
ダイヤ製菓株式会社	冷却シート	第10回静岡県西伊豆町活性化活動 長野県北信地域森林整備活動 第17回九十九里浜全域清掃大作戦	410	30	12,300	12,300
モンスターエナジージャパン	モンスターエナジー	長岡まつり活性化活動 利島活性化活動 長野県北信地域森林整備活動 三重県熊野市子ども防災キャンプ 飯山市活性化活動 印旛沼グリーン大作戦 第10回静岡県西伊豆町活性化活動 熊野大花火大会活性化活動 第17回九十九里浜全域清掃大作戦 栃尾ふるさとづくり活動 東日本震災復興支援活動 新潟県関川村「大したもん蛇まつり」活性化活動	205	3912	801,960	801,960
川本産業株式会社	ステアジェル	熊野大花火大会活性化活動 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018	356	20	7,120	7,120
田辺三菱製薬株式会社	アスバロドリンク 50本×3ケース	新潟県佐渡市日本海沿岸清掃活動 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018	146	150	21,900	21,900
株式会社シバタ	ブルーシート3.6m×5.4m	印旛沼グリーン大作戦 第17回九十九里浜全域清掃大作戦 第2次日生諸島活性化活動	2,000	100	200,000	200,000
萩原工業株式会社	ブルーシート2.7m×3.6m	印旛沼グリーン大作戦 飯山市活性化活動 新潟県関川村「大したもん蛇まつり」活性化活動 第10回静岡県西伊豆町活性化活動 熊野大花火大会活性化活動 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018	1,000	200	200,000	200,000
株式会社カンハラ	ホワイトシート3.6m×5.4m	熊野市大花火大会活性化活動	2,000	50	100,000	100,000
長野県農林株式会社	リムジンス30本入り×4ケース	長野県北信地域森林整備活動	4,207	4	16,828	16,828
有限会社近藤南司	馬印軍手12双×3ケース	三重県熊野市子ども防災キャンプ	250	60	15,000	24,000
弘進ゴム株式会社	女性用Sサイズ軍手12双×3ケース	三重県熊野市子ども防災キャンプ	250	36	9,000	45,600
	弘進グループ680(ゴム長手袋)5双入り	印旛沼グリーン大作戦	7,600	6	45,600	
株式会社オーシャンライフ	マイ靴紐付き長靴(レンタル)	印旛沼グリーン大作戦	9,900	5	49,500	92,880
	ライフジャケット	印旛沼グリーン大作戦	4,644	20	92,880	
株式会社MIYUKI	アルファベットのズ 100粒入り	熊野大花火大会活性化活動	450	5	2,250	5,000
ボーズクラブ用傘	熊野大花火大会活性化活動	100	5	5,000		
J&Aばあさま	米15kg	印旛沼グリーン大作戦	6,000	2	12,000	12,000
株式会社ハヤブサ	タオル	印旛沼グリーン大作戦	108	200	21,600	21,600
大王製紙株式会社	エリエールウエットティッシュ	熊野大花火大会活性化活動	615	50	30,750	30,750
株式会社カネボウ化粧品	日焼け止め(サンプル)	琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018	108	240	25,920	25,920
サラヤ株式会社	携帯用アルコール消毒液(ワイルドステアVH)	第14次中国緑化活動 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018 新潟県佐渡市日本海沿岸清掃活動 第2次日生諸島活性化活動	660	40	26,400	26,400
	竹炭除菌消臭	竹炭除菌消臭				
株式会社聖徳院ハツ橋	ハツ橋	第14次中国緑化活動	500	14	7,000	7,000
赤穂化成株式会社	熱中対策レモンパウチ 30個×50箱	琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018 第2次日生諸島活性化活動	140	1,500	210,000	210,000
藤和コーポレーション	うちわ	竹炭除菌消臭	25	50	1,250	1,250
株式会社ビジョン	ポットホルダー(レンタル) 10日間	フクリン減災・環境保全活動	1170×10	2	23,400	42,800
	ポットホルダー(レンタル) 10日間	第14次中国緑化活動	970×10	2	19,400	
株式会社オンザウェイ	IC-D60 無線機レンタルセット[S/W]	4,500	21	94,500	132,500	
	固定局型IC-D5005レンタルセット	2,000	1	2,000		
	手荷ハッチェリ	-	10	-		
ソーラー株式会社	充電ケーブル	-	3	-	112,000	
	IP無線機 IP500H(レンタル)	平成30年西日本豪雨	4,500	20		90,000
	スピーカーマイク(レンタル)	琵琶湖外来水生植物除去大作戦2018	-	20		-
	GPS端末設置料	2,000	1	2,000		
	GPSセット	4,500	10	45,000		
GPS端末設置料	1,000	10	10,000	57,000		
	2,000	1	2,000			
総額(円)					2,906,176	

春プロジェクト

企業名	商品名	使用プロジェクト	原価(円)	個数	合計(円)	価値(円)
東京サラヤ株式会社	アルコール除菌ウエットシート	東日本震災復興支援活動 山形県日本海沿岸清掃活動 竹炭除菌消臭	60	300	18,000	11,950
	アルベットの指消毒用1リットル	インド生活支援活動 フクリン減災・環境保全活動 カンボジア子ども教育支援活動	1,458	6	8,748	
兼一薬品工業株式会社	手指消毒液	岡山県備前市日生諸島活性化活動	749	50	37,450	37,450
オカモト株式会社	貼らないカイロ(240枚入り)	新潟県関川村協働活動セツ谷まつり 新潟県関川村協働活動大石どもこまつり 飯山市活性化活動(雪まつり・かまくらまつり) 栃尾襟押し合いまつり活性化活動 十日町雪まつり活性化活動 西伊豆町活性化活動	4,950	6	29,700	29,700
		熊野市活性化活動(雪と光の祭典) 東日本震災復興支援活動 菅原カーニバルなかと2019協働活動 栃尾はだれ祭り協働活動 竹林整備活動春(春宿) 山形県日本海沿岸清掃活動				
モンスターエナジージャパン合同会社	モンスターエナジー	関川村協働活動セツ谷まつり 飯山市活性化活動(雪まつり・かまくらまつり) 栃尾襟押し合いまつり協働活動 関川村協働活動大石どもこまつり インド生活支援活動 十日町雪まつり活性化活動 沖繩県職及者遺骨収集活動 西伊豆町活性化活動 三重県熊野市地域活性化活動 フクリン減災・環境保全活動 カンボジア子ども教育支援活動 岡山県備前市日生諸島活性化活動 京都府阿蘇海環境づくり活動 ネハール山村支援活動	205	1872	383,760	383,760
		熊野市活性化活動(雪と光の祭典) 東日本震災復興支援活動 菅原カーニバルなかと2019協働活動 栃尾はだれ祭り協働活動 竹林整備活動春(春宿) 山形県日本海沿岸清掃活動 東海防災サミット美浜口				
株式会社トヨー	折り紙	インド生活支援活動	756	10	7,560	7,560
中田食品株式会社	梅干し	インド生活支援活動	4,914	1	4,914	4,914
キーコーヒー	インスタントコーヒーグラインドテイスト	東日本震災復興支援活動	970	1	970	970
長野県農林株式会社	リムジンス(ケース30本)	飯山市活性化活動(雪まつり・かまくらまつり)	4,018	5	20,090	20,090
株式会社アルアイ	マス目巻紙(100枚)	三重県熊野市活性化活動	4,682	1	4,682	4,682
株式会社ウチダ	ウエットティッシュ	岡山県備前市日生諸島活性化活動	60	0	0	0
セツウカン株式会社	高強度の段ボール	インド生活支援活動	678	15	10,170	10,170
阿南電機株式会社	ワークラット	沖繩県職及者遺骨収集活動	4,403	5	22,015	22,220
公益財団法人日本バーレーボール協会	ヘッドライト	1,041	5	5,205	5,205	
3Mジャパングループ株式会社	パナールボール	カンボジア子ども教育支援活動	7,000	15	105,000	59,700
株式会社運動会屋	作業用手袋	ネハール山村支援活動	408	70	28,560	28,560
	五人入れ用背負いかご	2,160	4	8,640		
株式会社運動会屋	大黒用の襪	カンボジア子ども教育支援活動	1,510	4	6,040	17,380
	麻袋	540	5	2,700		
株式会社ビジョン	グローブ(W-FI2台ずつ)	第12次インド生活支援活動	36,240	1	36,240	26,576
		カンボジア子ども教育支援活動	26,576	1	26,576	
株式会社総合サービス	富岡トイ	フクリン減災・環境保全活動	27,360	1	27,360	18,400
		東海防災サミット美浜	18,400	1	18,400	
総額(円)					761,410	

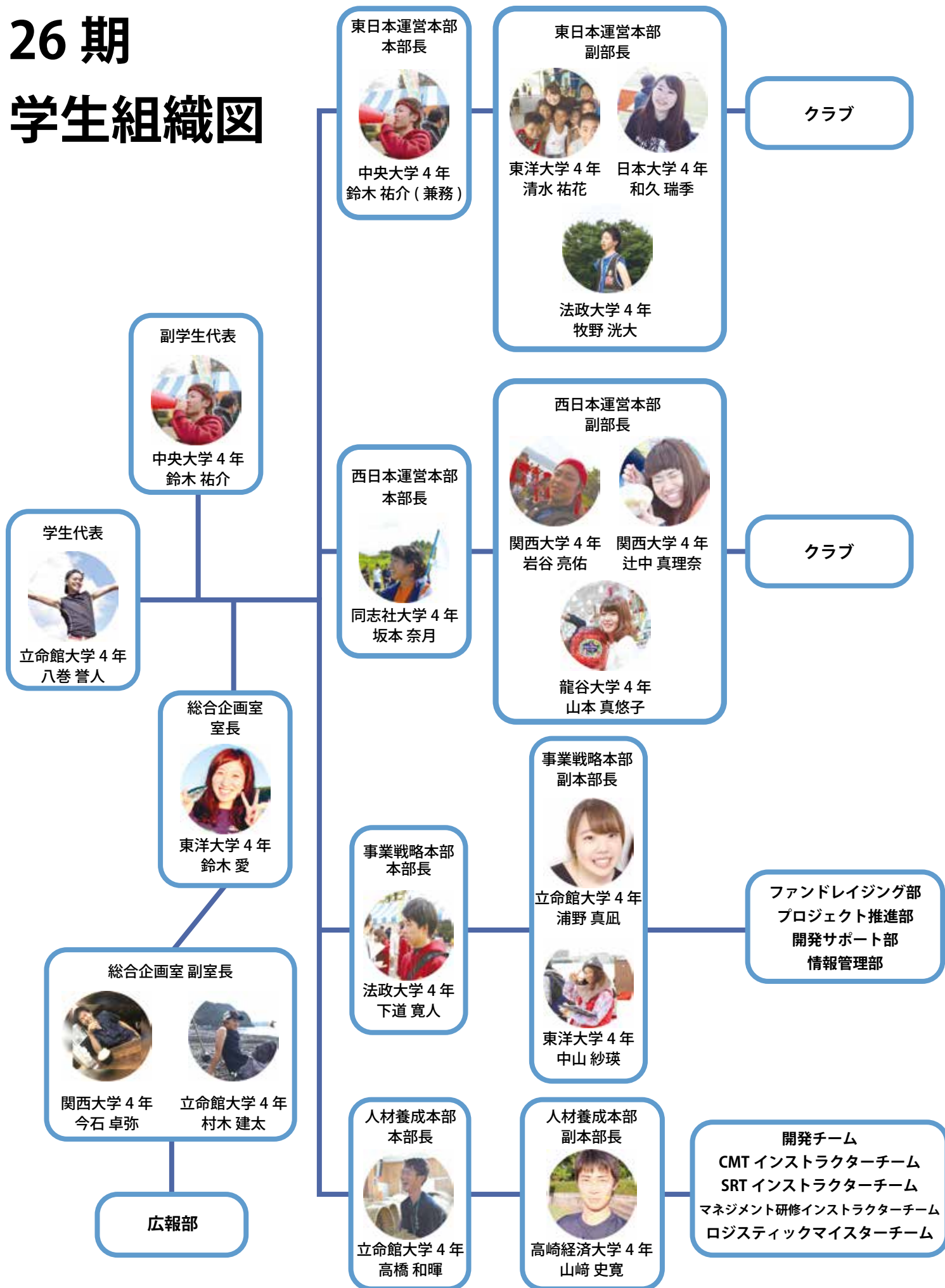
メディア掲載

No	活動名	掲載メディア	掲載日
1	大阪北部地震救援活動	Yahoo!ニュース	2018.6.23
2	大阪北部地震救援活動	朝日新聞	2018.6.24
3	福岡県星野村活性化活動	西日本新聞	2018.6.25
4	千葉県印旛沼クリーン大作戦	読売新聞	2018.8.15
5	静岡県西伊豆町活性化活動	伊豆新聞	2018.8.16/8.18
6	長野県飯山市活性化活動	北信ローカル	2018.8.17
7	長野県飯山市活性化活動	北信濃新聞	2018.8.18
8	静岡県西伊豆町活性化活動	静岡新聞	2018.8.19
9	京都府阿蘇海環境づくり活動	京都新聞	2018.8.27
10	琵琶湖外来水生植物除去大作戦	読売新聞	2018.9.14
11	新潟県佐渡市日本海沿岸清掃活動	新潟日報	2018.9.21
12	大阪茨木クラブ 第2次コウノトリ野生復帰活動	神戸新聞	2018.9.21
13	岡山県日生諸島活性化活動	山陽新聞	2018.9.26
14	オオバナミズキンバイ除去活動	中日新聞	2018.10.14
15	オオバナミズキンバイ除去活動	朝日新聞	2018.10.17
16	オオバナミズキンバイ除去活動	京都新聞	2018.10.17
17	オオバナミズキンバイ除去活動	読売新聞	2018.10.25
18	大阪北部地震支援活動	ボランティア情報11月号	2018.11
19	東京日野クラブ フェアトレード事業	東京新聞	2018.11.29
20	新潟県関川村「七ヶ谷雪ほたるまつり」活性化活動	新潟日報	2019.2.7
21	新潟県関川村「七ヶ谷雪ほたるまつり」活性化活動	いわふね新聞	2019.2.10
22	裸押し合い祭り活性化活動	読売新聞ウェブサイト	2019.2.11
23	裸押し合い祭り活性化活動	栃尾タイムズ	2019.2.15
24	裸押し合い祭り活性化活動	新潟日報	2019.2.20
25	沖縄県戦没者遺骨収集活動	NHK沖縄	2019.2.21
26	沖縄県戦没者遺骨収集活動	琉球新報	2019.2.22
27	三重県熊野市活性化活動	毎日新聞	2019.2.24
28	静岡県西伊豆町活性化活動	伊豆新聞	2019.2.24
29	三重県熊野市活性化活動	南紀新報	2019.2.26
30	京都府阿蘇海環境づくり活動	京都新聞	2019.3.3
31	京都府阿蘇海環境づくり活動	読売新聞	2019.3.3
32	東日本大震災復興支援活動	毎日新聞	2019.3.10
33	新潟県十日町市雪原カーニバルなかさと活性化活動	毎日新聞	2019.3.11
34	東日本大震災復興支援活動	河北新報	2019.3.13
35	愛媛県宇和島市復旧支援活動	愛媛新聞	2019.3.17
36	山形県日本海沿岸清掃活動	荘内日報	2019.3.20
37	愛媛県宇和島市復旧支援活動	日テレニュース24	2019.3.27
38	愛媛県宇和島市復旧支援活動	南海放送	2019.3.27
39	愛媛県宇和島市復旧支援活動	宇和島ケーブルテレビ	2019.3.27
40	平成30年7月豪雨災害	日本農業新聞	2019.3.27/4.8

収支報告書

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 会費収入		
入会金	6,121,000	
学生会員受取会費	37,179,000	
その他の会員受取会費	595,000	43,895,000
2 寄付金収入		
一般寄付	2,321,992	
募金寄付	1,325,706	3,647,698
3 助成金・補助金収入		
助成金	18,536,338	
補助金（業務委託収入）	12,415,560	30,951,898
4 事業収入		
プロジェクト参加費・研修受講費等	171,636,834	171,636,834
5 その他の収入		
受取利息	690	
受取配当金	83,620	
雑収入	55,247	139,557
経常収益計		250,270,987
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	44,488,376	
法定福利費	6,569,959	
人件費計	51,058,335	
(2) その他経費		
その他事業費	161,057,776	
期首商品棚卸高	1,673,911	
期末商品棚卸高	▲ 3,159,470	
その他経費計	159,572,217	
事業費計		210,630,552
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	2,791,000	
法定福利費	826,843	
福利厚生費	1,469,502	
人件費計	5,087,345	
(2) その他経費		
賃借費	9,496,980	
旅費交通費	2,636,408	
車両費	934,336	
通信費	181,352	
消耗品費	3,095,456	
諸会費	236,000	
租税公課（消費税等）	5,183,836	
支払手数料	371,029	
荷造り運搬費	262,484	
会議費	643,845	
慶弔費	120,626	
水道光熱費	932,935	
減価償却費	279,592	
図書情報費	119,683	
雑費	435,287	
業務委託費	955,865	
リース費（コピー機、テレビ電話システム等）	1,686,438	
ネット関連費	977,571	
その他経費計	28,549,723	
管理費計		33,637,068
経常費用計		244,267,620
当期経常増減額		6,003,367
法人税、住民税及び事業税		150,000
当期正味財産増減額		5,853,367
前期繰越正味財産額		78,075,843
次期繰越正味財産額		83,929,210

26 期 学生組織図





2019年7月

発行・編集：特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂1-34-4 ザ・アゼリアハウスB-102

Tel/Fax 03-6751-2683 E-mail ivusa-office@ivusa.com